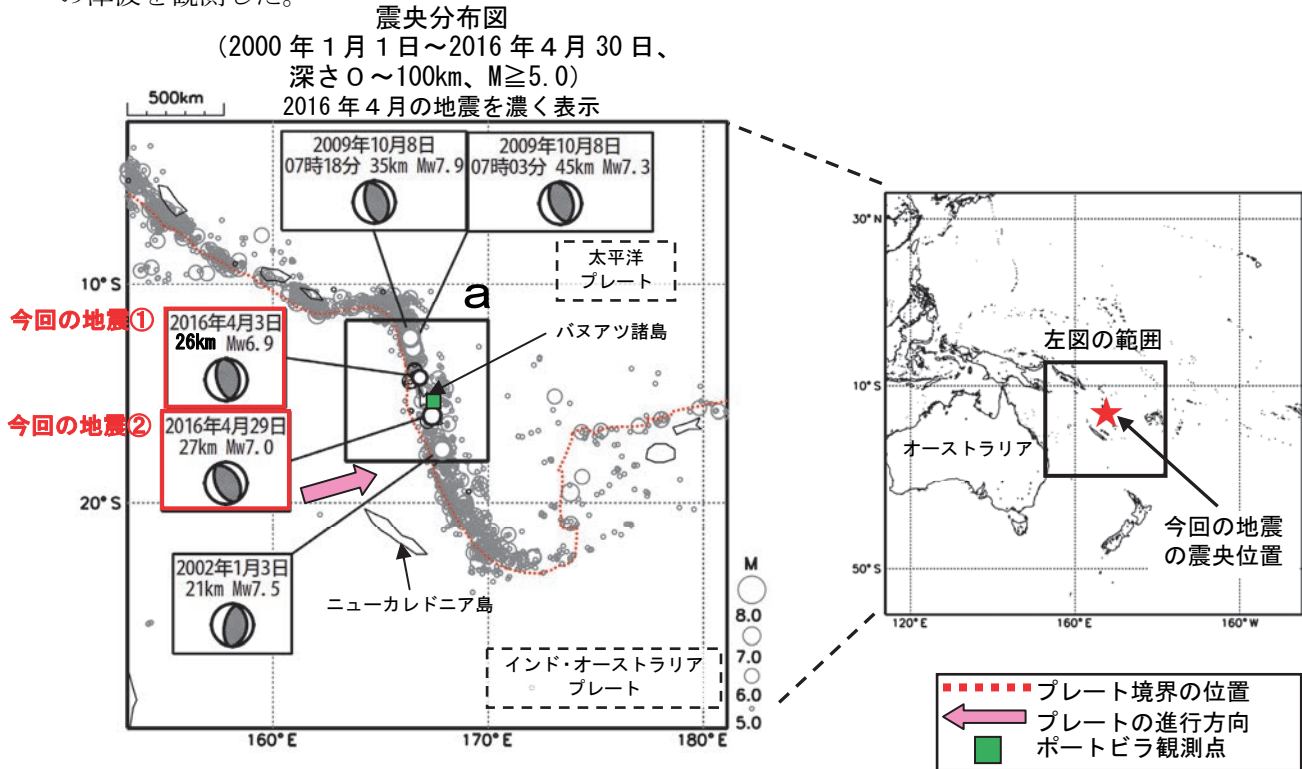


4 月 3 日、29 日 バヌアツ諸島の地震

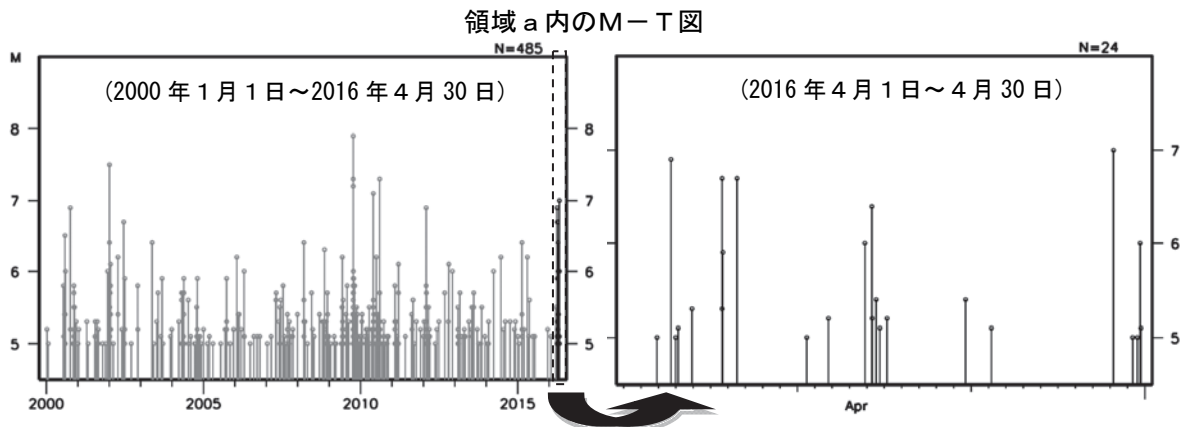
2016 年 4 月 3 日 17 時 24 分（日本時間、以下同じ）にバヌアツ諸島の深さ 26km で Mw6.9（気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震（今回の地震①）が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、インド・オーストラリアプレートと太平洋プレートの境界付近で発生した。その後、4 月 29 日 04 時 33 分には、今回の地震①の近傍で Mw7.0（気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震（今回の地震②）が発生するなど地震活動が活発になっている。

気象庁は、3 日 17 時 52 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「日本への津波の有無については現在調査中です。」）を、同日 18 時 53 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。また、今回の地震②について、29 日 04 時 58 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

2000 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M 7 を超える地震も時々発生しており、2009 年 10 月 8 日には、Mw7.3、Mw7.9 の地震が連続して発生し、バヌアツのポートビラで約 0.3m の津波を観測した。



プレートの進行方向は、インド・オーストラリアプレートと太平洋プレートをそれぞれ固定した場合の相対的な方向である。



※本資料中、今回の地震①、②の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構は GlobalCMT による。震源要素と Mw は米国地質調査所 (USGS) による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。津波の高さは米国海洋大気庁 (NOAA) による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.